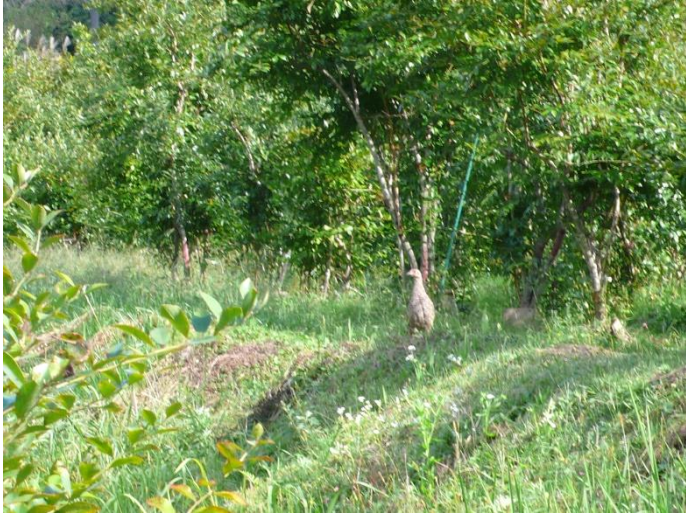


10月のブルーベリー農園その1（東広島市豊栄町）

稲刈りもほとんどの田んぼで終わり静かになった。雨もほとんど降らないので農作業には支障がない。今年は少し早くブルーベリーの剪定をしたいので草刈りやジャーマン

アイリスの植え替えなどの作業を早く済ませたいが、週末農業ではままならない。



10月2日（土）。
3段あるブルーベリー畑の一番下の畑に草刈りに行くとき雌のキジが4羽飛び立った。畑の法面にいったん飛び降りてあたりをきょろきょろ見ている1羽はどうやら母親らしい。



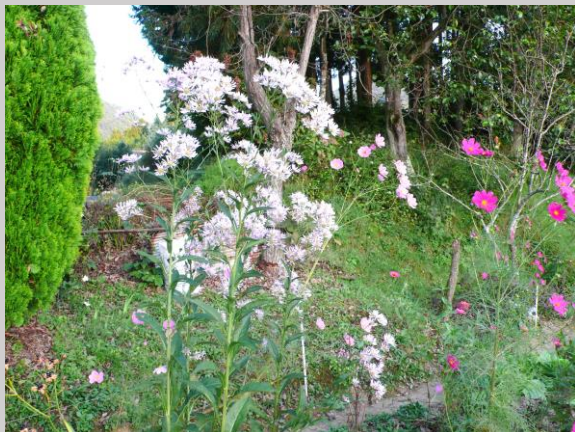
キジが飛び立った畑の法面の下の水気の多いところに群生しているミズソバ。花は小さい。



農園のサクラの木は葉が半分以上落ちています。例年よりちょっと早い。連日の暑さで水分がなくなったためだろうか。



カメラでクローズアップすると花姿が見えてくる。





何倍も大きいのはヒヤクニチソウ。(農園の近くの畑と花壇が混在した場所で)



10月3日(日)

農園にはちょっと小高い所に畑がある。随分昔から耕作され続けた土で耕すとぼろぼろした団粒になる。畝を立ててまずはジャーマンアイリスを株分けして植える。来週も植える予定。他にはソラマメなどを植えるつもり。



里山のブルーベリー園の周辺にサンショの木があり青い実から赤色に変わり皮が割れて黒っぽい実が顔を出したので摘み取る。まだ割れていない実もあるのでためておい

て皮だけをすりつぶして薬味にしてみたい。



ブルーベリー畑の草刈りが続く。一番下がすんで2段目に着手。



安芸の郷のブルーベリーの苗木の見本。午後安芸津町の方が田んぼにブルーベリーを植えたいので打ち合わせに来園。色々と説明して11月に数百本植える相談を行った。



ブルーベリー畑に1本あるムラサキシキブの実。

2021年10月8日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良

《2021年10月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》